

鳥取市議会予算審査特別委員会総務企画分科会会議録

| | | | |
|---------------|---|-----|--------|
| 会議年月日 | 令和3年2月26日（金曜日） | | |
| 開 会 | 午前11時8分 | 閉 会 | 午後3時6分 |
| 場 所 | 市役所本庁舎7階 第1委員会室 | | |
| 出席分科員 （8名） | 分科会長 吉野 恭介 副分科会長 伊藤 幾子 分科員 加嶋 辰史、石田憲太郎、星見 健蔵、横山 明 秋山 智博、砂田 典男 | | |
| 欠席分科員 | なし | | |
| 分科員外議員 | なし | | |
| 事務局職員 | 議事係長 毛利 元 調査係主事 井上 裕介 | | |
| 出席説明員 | <p>【総務部】</p> <p>総務部長 浅井 俊彦 次長兼総務課長 富山 茂 総務課公文書管理室長 有元 薫治 課長補佐兼行政係長 蔵増 彩 次長兼行財政改革課長 河口 正博 行財政改革課課長補佐 宮崎 学 次長兼職員課長 塩谷 範夫 職員課課長補佐 藤田 浩一 総務部次長兼検査契約課長 下田 俊介 検査契約課課長補佐 河上 昌輝 財産経営課長 一村 泰志 財産経営課課長補佐 中村 和範 資産活用推進課長 戸田 昭弘 資産活用推進課課長補佐 福井 一朗</p> <p>【総務部 税務・債権管理局】</p> <p>税務・債権管理局長兼市民税課長 坂本 宏仁 次長兼収納推進課長 吉田 彰克 収納推進課課長補佐 池原 章博 固定資産税課長 馬場 睦雄 固定資産税課課長補佐 山本 泰史 市民税課課長補佐 谷本 泰志</p> <p>【総務部 人権政策局】</p> <p>人権政策局長兼人権推進課長 武田 敏男 人権推進課課長補佐 太田奈津美 男女共同参画課長 池上 朱美 男女共同参画課課長補佐 山根 径 中央人権福祉センター所長 川口 寿弘 男女共同参画センター所長 安本 哲哉</p> <p>【危機管理部】</p> <p>危機管理部長 乾 秀樹 危機管理課長 横尾 賢二 危機管理課参事 岸本 誠 危機管理課課長補佐 太田 瑞穂</p> <p>【監査委員事務局】</p> <p>事務局長 大田 斉之 事務局次長 安本 里美 局長補佐 富田 久人</p> | | |

| | |
|----------|--|
| | <p>【選挙管理委員会事務局】</p> <p>事務局 長 鈴木 敏 事務局 次長 小嶋 宏</p> <p>【出納室】</p> <p>会計 管理者 高橋 徹 出納室室長補佐 井上 拓也</p> <p>【市議会事務局】</p> <p>事務局 長 森山 武 事務局 次長 富田 恵子</p> |
| 傍 聴 者 | なし |
| 会議に付した事件 | 別紙のとおり |

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後1時35分 開会

【総務部・危機管理部】

- ◆吉野恭介分科会長 それでは、報告事項終了しまして、総務企画委員会を終了し、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。
- ◆吉野恭介分科会長 分科会へ切替えをお願いします。はい。よろしいでしょうか。
はい。それでは、議案第4号令和3年度鳥取市一般会計予算のうち、本委員会の所管に属する部分について御説明を、簡潔明瞭をお願いいたします。
- 河口正博総務部次長兼行財政改革課長 委員長。
- ◆吉野恭介分科会長 ちょっと待ってください。
- 河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい、すみません。
- ◆吉野恭介分科会長 はい。もう一つ、提示事項がありました。本日の委員会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で聞き取りにくかった点や字句の確認は求めていきますので、よろしくをお願いします。

議案第4号令和3年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分(説明)

- ◆吉野恭介分科会長 それでは、議案第4号の説明をお願いいたします。
- 河口正博総務部次長兼行財政改革課長 委員長。
- ◆吉野恭介分科会長 はい、河口次長。
- 河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。先ほど、すみませんでございました。それでは、資料、右肩3に基づきまして、当初予算の説明に入りたいというふうに思います。併せまして、お配りしております、こちらも資料3でございますが、事業別概要、それから、青い予算書でございますけども、こちら、3つの資料で御説明したいというふうに思っております。それでは、資料3のほうを、順次御説明したいと思います。
- ◆吉野恭介分科会長 少しお待ちください。よろしいですか。
(「はい」と呼ぶ者あり)
- ◆吉野恭介分科会長 大丈夫ですか。はい。じゃあ、お願いします。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。そうしますと、1ページ以降に、市民税、市税から市民税等から入っておりますが、こちらにつきましては、既に市長、それから、税務局長のほうから御説明をいただいておりますので、割愛をさせていただきます。それから、3ページ以降につきましても、交付金絡みでございますので、こちらのほうも、少し省略をさせていただきたいというふうに思います。

それでは、5ページの下段のところでございます。1点、この交付金につきまして、御説明をさせていただきたいというふうに思います。新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金ということで、地方特例交付金の一部でございますが、こちら、先ほど2月補正予算で計上させていただいております固定資産税の減免等に係るものにつきまして、2億2,938万2,000円を交付金で、これは、国の制度に呼応したものでございますので、固定資産税の減免の分につきまして頂けるということでございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 はい、富山次長。

○富山 茂総務部次長兼総務課長 はい。総務課、富山です。そうしますと、資料のほうは9ページに飛んでいただけますでしょうか。9ページの上から2番目の市町村事務移譲費交付金でございます。これは、県支出金の交付金ですが、この交付金は、鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例と、鳥取県教育委員会の権限及び事務処理の特例に関する条例に基づきまして、鳥取市が処理する事務に対しまして、県からもらう交付金になっております。市役所全体の分を、総務課が受け入れておりまして、各課の該当事業に充当はされております。以上です。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい、委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、戸田課長。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい。同じく9ページの下段です。下から2番目、土地の売払い収入でございます。600万円を計上しております。これは、未利用の土地になっている用瀬町地内ほかの普通財産の売払いを、一般競争入札にて予定しているものでございます。

それと、その下の物品売払い収入でございます。こちらにつきましては、経年、老朽化等によりまして未利用となっております、車検が未更新となります公用自動車などの売払いを予定しておるものでございます。以上でございます。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 河口次長。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。はぐっていただきまして、10ページでございます。中ほどにあります、19繰入金、繰入金、基金繰入金でございます。こちら、右側の内容のところの上段でございます。減債基金繰入金3億900万円でございます。こちらにつきましては、先ほど2月で御説明をさせていただきました猶予債をお借りをさせていただきます。これを1年後、令和3年度に償還ということになりますので、減債基金、積んでおきました減債基金から繰入れを入れまして、この3億900万を計上するものでございます。

それから、4つ下のところになります、新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金でございます。こちら、緊急対策ということで、経済観光部のほうがやっております利子補助、こ

れ県・市の利子補助でございますが、こちらのほうの財源に、1億4,252万9,000円を取り崩して充当するというものでございます。以上でございます。

○富山 茂総務部次長兼総務課長 はい。

◆吉野恭介分科会長 富山次長。

○富山 茂総務部次長兼総務課長 はい。総務課、富山です。そうしますと、説明資料のほうは、12ページをお願いします。12ページの上から4段目、中核市関連事務県負担金です。これは、鳥取県と鳥取市の間における保健所業務等に関する事務の委託に関する規約に基づきまして、鳥取県が本来、岩美町・若桜町・智頭町・八頭町の区域に行います事務を、鳥取市が委託を受けて行くと、4町分の負担金として1億7,173万円を計上しております。

歳入につきましては、以上になっております。

○塩谷範夫総務部次長兼職員課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、塩谷次長。

○塩谷範夫総務部次長兼職員課長 はい。職員課、塩谷です。そうしますと、13ページ、歳出の説明のほうをさせていただきます。主なものということで説明をさせていただきます。

まずは、総務費、総務管理費、一般管理費の職員費（特別職）でございます。こちらのほうにつきましては、市長・副市長の人件費ということで、3,651万1,000円を計上しております。

その下、職員費（一般職）、一般職員の給料等ということで、20億5,934万3,000円を計上しております。こちらのほうは、総務部、企画推進部、総合支所の所長及び地域振興課職員、計253名の人件費19億910万3,000円、また、派遣職員、県なりからの派遣の職員の人件費の負担金ということで、1億5,024万円を計上しておるところでございます。

その下、退職手当でございます。こちらのほうは、事業別概要の5ページの上段も記載をしております。今年度の予算額としては、7億9,381万7,000円ということで、こちらのほうは、一般職の定年退職者を38名、それから、特別職の退職者1名分を、計上をしておるところでございます。

それから、その下、補助職員費でございます。こちらのほう、今年度予算額1億774万1,000円を計上をしております。こちらのほうは、職員が病気休暇でありますとか、産前・産後休暇、育児休暇等で休んだ場合の大体の会計年度任用職員の経費ということで、45名分を計上をしております。以上です。

○下田俊介総務部次長兼検査契約課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、下田次長。

○下田俊介総務部次長兼検査契約課長 はい。検査契約課、下田です。同じく13ページ中段、契約事務費でございます。予算額436万4,000円です。この契約事務費は、入札契約に必要なとなる経費でございます。会計年度任用職員1名分の人件費や、入札契約に必要な事務費等の消耗品費等を計上しております。令和3年度からは、電子入札システムの運用経費がかかりますので、この経費についても、この中に含まれております。以上です。

○塩谷範夫総務部次長兼職員課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、塩谷次長。

○塩谷範夫総務部次長兼職員課長 はい。職員課、塩谷でございます。同じく13ページ、人事管理費、研修参加費でございます。今年度計上して2,389万3,000円でございます。研修関係事務費ということで、こちらのほうは、講師の招聘でありますとか、県外研修施設への派遣旅費、また、研修講師の謝礼等、それから、県の人材開発センターへの研修委託料、それから、自治大学校、市町村アカデミー等の研修参加負担金等を計上しておりますところでございます。

それから、その下、韓国清州市職員派遣事業費、及び、その下の韓国清州市職員受入事業費ということで、こちらのほうは、新年度、韓国への派遣と、それから受入れということで計上しておりますが、今回計上しているものは、事前の研修経費ということで、実際に、向こうに渡航したりとか、それから、向こうの職員が来るというのは、今後の情勢を見てということなので、そこは情勢なりで、検討したいと考えておりますところでございます。

それから、その下の衛生管理費でございます。2,982万6,000円を計上しております。こちらのほうは、市立病院との健康管理委託で、健康相談でありますとか、産業医の派遣、また定期健康診断、人間ドッグなどの検査費用等を計上しておりますところでございます。

説明は以上です。

○有元薫治総務課公文書管理室長 はい、委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、有元室長。

○有元薫治総務課公文書管理室長 はい。公文書管理室、有元です。資料14ページの中ほどになりますけれども、社会保障税番号制度運営費のマイナポイント事業でございます。マイナポイント事業は、マイナンバーカードをお持ちの方が、電子マネーとキャッシュレス決済サービスを1つ選んでいただいて申込みされると、そのキャッシュレス決済サービスで、チャージまたは買物をした場合、25%のポイントが付与されるものでございます。上限は、5,000円分のポイントとなっております。昨年9月～3月までの期間で実施予定でございましたが、今年9月まで期間が延長になったことから、1階に設置しておりますマイナポイント手続スポットを、引き続き、9月まで延長して設置するため、会計年度任用職員の人件費及びチラシ等の印刷経費を計上させていただくものでございます。以上です。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、河口次長。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。続きまして、その2つ下になります、4財政管理費でございます。予算事務費、こちら、事業別概要の3ページの上段になります。基本的には、予算、印刷製本費等になりますが、公会計業務委託のほうを行っております、それに係る委託料も含めまして、880万6,000円ということになります。以上でございます。

○一村泰志財産経営課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、一村課長。

○一村泰志財産経営課長 はい。財産経営課、一村です。同じく14ページの下から2番目でございます。庁舎管理費のうち、総合支所整備事業費（青谷支所）というところを御覧ください。事業別概要は6ページ上段となります。午前中の2月補正の部分で説明したとおり、総合支所

の防災機能の向上を図るため、耐震改修工事を中心とした整備事業を行ってまいりましたが、本年度で、旧耐震の5支所の整備が完了しましたので、来年度以降は、新耐震基準の3支所、青谷・国府・鹿野支所について、順次整備を行っていく予定にしております。来年度におきましては、特に塩害、塩です、塩の塩害の影響を受けております青谷支所から整備を行っていく予定にしております、そのため、実施設計の業務委託料として2,270万円を、来年度の当初予算に計上しております。以上です。

○戸田昭弘資産活用推進課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、戸田課長。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、戸田です。続きまして、15ページ一番上段になります。財産管理費のファシリティマネジメント推進事業費でございます。今年度予算額は、5,242万5,000円、前年度より1,433万1,000円の増です。主な内訳ですけれども、継続事業として、1点目は、効率的な施設の運営管理を図るため、施設の清掃業務や消防設備点検を地域ごと一括発注、並びに、建築基準法第12条による建築物防火設備の法定点検などの実施に要する費用3,599万2,000円。2点目は、民間提案制度採択事業で、対象施設の蛍光灯をLED化した複数施設ESCO事業導入、それと、気高支所の空調設備を遠隔監視で自動制御運転する機器を設置した、エネルギー削減保証サービス導入事業について、両事業とも削減となる電気料金の範囲内で施工実施した工事費等を賄うものでございまして、その債務負担行為による償還費用1,122万8,000円。このほか、未利用土地売却などでの鑑定測量費や、FM研修開催経費などとなっております。

また、新規事業といたしまして、施設再配置推進に関し、外部の専門家による委員会を設置したいと考えております。これにつきましては、別に資料をつけております。資料3の1を御覧いただけますでしょうか。A4、1枚物でございます。施設再配置推進に関する外部専門委員会の設置についてという資料でございます。

◆吉野恭介分科会長 お願いします。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい。まず1番の背景・目的でございます。前段の部分につきましては、また御覧いただければと思います。後段の「しかしながら」からでございます。27年度策定の再配置基本計画、これの第1期が5年を経過するところでございますけれども、昨年11月末で、床面積は約1万1,000平米の増加、率にして1.2%、解体予定を含めました場合は、約1万4,000平米の減、率にしてマイナスの1.6%となっております。いずれにしても、取組は十分ではないというふうに私どもは考えてございまして、再配置推進に向け、今後の新たな取組を検討するため、外部専門委員会を設置したいと考えております。

2番目として、外部専門委員会の内容でございます。(1)番で、検討事項ということで、次の3点を検討し、市長に報告することとしております。1つ目が、公共サービスの維持向上を前提とした更新経費削減に向けた効果的手法。2番目が、廃止施設の利活用や除却に関すること。3番目が、その他、市が保有する公共施設の総量圧縮、これを実現するため必要なこと。

（2）として構成員です。ファシリティマネジメント、地方公会計、建築、まちづくり等の専門的な知識を有する外部委員及び内部委員の7人以内で組織したいと考えております。外部委員等の分野案につきましては、記載のとおりでございます。

（3）のスケジュール案です。令和3年度は、4月～6月にかけて、地方公会計システムを改修の上、施設別行政コストの算出をしたいと考えております。その後、7月～2月にかけて、5回程度委員会を開催し、3月には、検討結果を報告書として、市長に提出するという予定を組んでおります。令和4年度4月以降でございますけれども、頂きました報告書に基づきまして、市のほうで方針、これは、新たな取組の大きな考え方・方向性、そういったものになりますけれども、そういったことを決定いたしまして、市民の皆様・議会の皆様に情報提供を行った上で、具体的取組の検討に移ってまいりたいというふうに考えております。

（4）番目です。当初予算には、委員会経費として、46万4,000円、謝金などがございますが、それと、システムの改修費110万円を計上しているところでございます。

最後に、床面積の増減の表をつけております。左端に、再配置基本計画、90万1,632平米という基礎数値でございます。これを基にしました増減につきましては、冒頭説明したとおりでございます。その上に、米印で調査分というものがございます。2万9,623平米でございますが、これは、本来、基本計画作成時にカウントされているべき床面積、錯誤分でございます。公会計システム導入によりまして、固定資産台帳を整備し、29年度には調書が作成されておりますけれども、その後、当課が把握しております床面積との乖離に気づきまして調査を進めまして、錯誤分の現在値としているものでございます。おわびをいたしますとともに、今後、さらに精査をいたしまして、錯誤数値を確定し、その他所要の整備を行った上で、改めてお知らせをさせていただきたいと考えております。

なお、この錯誤によりまして、数値目標の40年間で29%縮減というものの変更をすることはありません。また、この錯誤分の数値を加算した93万1,255平米を基礎に増減率を計算いたしましても、お示ししております1.2%はそのまま、マイナス1.6%はマイナス1.5%となるもので、変わりはありません。ファシリティマネジメント推進事業費につきましては、以上でございます。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、河口次長。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。戻っていただきまして、15ページの中ほどでございます。7企画費、右側のほうに行ってくださいまして、行財政改革大綱等推進事業費（市民委員会）でございます。48万9,000円でございます。こちらにつきましては、事業別概要の3ページの下段ということになります。こちらにつきましては、市民委員会、これは10名で構成をしております。こちらの報酬等、それから、実施計画を取り組みますので先進地視察、こういったものも一応計上させていただいて取り組む予定にしております。以上でございます。

○池上朱美男女共同参画課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、池上課長。

○池上朱美男女共同参画課長 はい。男女共同参画課の池上です。資料は、同じく15ページ、その下ですが、男女共同参画推進費の上から6つ目になります。男女共同参画啓発事業費について説明させていただきます。事業別概要は17ページを御覧ください。これは、令和3年度からの第4次鳥取市男女共同参画かがやきプランの取組を進めていくため、鳥取市男女共同参画センター輝なんせ鳥取において、男女共同参画推進のための啓発講座を実施するものです。啓発講座は、年間18講座を予定しております。また、来年度からは、因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏の構成市との連携講座を実施することとしておりまして、6講座程度、実施する予定です。今後も、本市はもとより、麒麟のまち圏域の男女共同参画を推進し、誰もが生き生きと輝く圏域を目指してまいります。以上です。

○横尾賢二危機管理課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、横尾課長。

○横尾賢二危機管理課長 はい。危機管理課、横尾です。16ページのほうになります。事業別概要は、18ページのほうになります。諸費の統合防災対策費の総合防災対策事業費1,620万1,000円でございます。こちらにつきましては、職員参集システム、あるいは、防災啓発ラジオ番組の作成・放送、災害対策本部室の維持管理費に係る経費でございます。

6つ下がっていただきまして、自主防災活動補助金2,275万円計上しております。こちらにつきましては、これまで、平成30年～2年、今年度まで、地域防災力強化補助金ということで、それ以前もちょっとありましたけども、町内会単位で、防災資機材を助成しておりました。この補助金をリニューアルしまして、3年度からは、災害時に、災害時には、地区単位で避難所を設置しているということがございまして、地区の避難所の充実を図るということで、各地区の自主防災会組織を対象に、世帯数に応じた補助金を支給するというものでございます。地区の世帯数に応じて、20万円～165万円という形で補助をするような形で、3年～4年のサンセット事業ということで考えております。今年度は、31地区を予定しているところでございます。

2つ下がります。自主防災会関係費でございます。159万2,000円計上しております。こちらは、地域防災力向上の要となります防災リーダーの養成活動経費でございます。防災リーダーにつきましては、防災リーダーを、新規の防災リーダーを育成する防災リーダー養成研修と、既存のリーダーの底上げを図るフォローアップ研修とがございまして、そういった研修等に係る経費でございます。

2つ下がります。防災行政無線整備事業費でございます。1億5,850万円計上しております。こちらにつきましては、防災行政無線につきましては、令和2年度で、全市域、デジタル化のほうで完了したところでございます。ですが、初期の頃に整備した旧市域だったりとか、国府だったり、そういったところについては、もう耐用年数がちょうど経過していたといったようなことがございまして、そういった耐用年数を経過した備品などを中心に、重要拠点の無線の設備を更新していきたいというものでございます。

2つ下がります。総合防災訓練費でございます。37万8,000円計上しております。こちらにつきましては、鳥取市防災の日、大地震の日でございますけども、9月10日の日でござい

すが、こちらで開催する総合防災訓練の経費でございます。本年度は、気高地区と若葉台を予定しているところでございます。

下から3つ目、同じページの下から3つ目です。防災備蓄事業費でございます。防災備蓄につきましては、県内市町村が共同して備蓄しまして、災害時は、被害のない市町村から被災した市町村に物資を供給するという総合支援体制を取っております。こういった連携備蓄のうち、今年度で保管期限が到来する備蓄品を更新する経費ということで、388万5,000円を計上しているところでございます。

続きまして、一番下、国民保護訓練費でございます。16万円計上しております。こちらにつきましては、国民保護措置に基づきまして、地域で図上訓練や実動訓練を実施するための経費でございます。令和3年度は、湖南地区を予定しているところでございます。私からは以上でございます。

○戸田昭弘資産活用推進課長 委員長、はい。

◆吉野恭介分科会長 戸田課長。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、戸田です。資料、予算資料のほうは、17ページとなります。上から4番目でございます。税務事務費におけます、ふるさと納税推進事業費でございます。予算書は179ページ、事業別概要は8ページ上段でございます。本年度予算額は、2億31万2,000円。財源はその他財源で、これは、出店手数料で1,890万1,000円、一般財源1億8,141万1,000円をお願いするものでございます。前年度より、2,568万6,000円の増となります。初めに増額理由でございますが、寄附額を今年度当初より5,000万円増となる4億円と見込みました。これで事業に必要な経費を増額しておりますが、このうち、新規事業として、新たなふるさと納税システム構築費210万円を計上しております。これは、昨年のふるさと納税システムからの個人情報流出を受けまして、保守運営事業者による復旧に当たり、第三者機関の脆弱性検査にも合格し、元どおり復旧しておるところではございますが、寄附者情報等のデータベースが、観光経済部運営の「とっとり市」システムと共通のサーバーで管理されていることは、いまだ変わらないという状況がございます。リスク管理を図りたいと強く考えておまして、防御性・安全性を高めた独立したシステムを構築したいと考えております。このほか、主な内訳といたしまして、返礼品の調達、発送経費1億3,800万円、外部ウェブサイトの利用手数料4,200万円、本市の返礼品の魅力を視覚に訴え、選んでいただける鳥取市となるために、効果的な写真や調理例などの動画を外部サイト等に掲載する委託費400万円、その他事務的経費、人件費などとなっております。以上でございます。

○吉田彰克税務・債権管理局次長兼収納推進課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、吉田次長。

○吉田彰克税務・債権管理局次長兼収納推進課長 はい。収納推進課、吉田でございます。資料のほうは17ページ、右側内容欄の下から8行目、徴収事務費の賦課徴収費でございます。予算書は179ページ、事業別概要書は10ページの下段となります。そちらは、市税の徴収業務に係ります督促状や催告書の発送に係る印刷製本費、通信運搬費等の事務費でございます。2,262万3,000円を計上しております。2月15日の予算概要説明で、会計年度任用職員を1名増員す

るということを御説明いたしましたけども、昨年度より予算額が101万7,000円減少してございます。これは、令和2年度におきましては、滞納管理システム、こちらの更新によるシステム改修がございまして、単年度での委託料308万円が、令和2年度は盛り込まれていたのでございます。これを差し引きますと、通年ベースより、ほぼ人件費部分の増額ということとなります。

次に、その下、納付催告センター運営費でございます。事業別概要書は、11ページの上段のほうになります。納付催告センターにおきましては、市税、国民健康保険料にしまして、納期限後、未納になった方にオペレーターによる電話での納付の御案内をさせていただいているというものでございます。未納となりました早い段階で催促をするということで、新規の滞納を防ぐとともに、いつときに納付が難しいという場合には、早く納付の相談につなぐということで、滞納の累積の防止というところの面でも取り組んでいるところでございます。この電話催告業務の委託料、電話催告のシステムのシステムの機器のリース料、保守料などとして2,076万5,000円を計上しております。以上でございます。

○馬場睦雄固定資産税課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、馬場課長。

○馬場睦雄固定資産税課長 はい。固定資産税課の馬場でございます。その下でございます。土地評価事務費3,016万4,000円でございます。事業別概要調書では10ページの上段になりますけども、この主なものですけども、評価システム基礎資料作成業務と、標準宅地の時点修正業務と、公図の分合筆の照合及び修正等、委託料が主なものになっております。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 はい、富山次長。

○富山 茂総務部次長兼総務課長 はい。総務課、富山です。すみません。資料のほうは、めくっていただいて18ページ、一番上段の項5統計調査費でございます。令和3年度の大きな調査は、2の指定統計調査費の上から3番目、経済センサス活動調査費になっております。事業別概要は、2ページの下段になっております。事業の内容に書いておりますが、調査日は、基準日は6月1日、順番は変わりますが、調査票を配布する事業所は、6,875事業所、それを調査員102名と指導員8名で実施する予定にしております。通常ですと、調査票を調査員が配布しまして、調査員が回収またはインターネットに回収になっておりますが、新型コロナウイルス感染症の対策としまして、今年は郵送による回収が行われる予定になっております。予算のうち約660万円が調査員の報酬になってございまして、財源としましては、国からの委託費が県を通じて交付されます。以上です。

○武田敏男人権政策局長兼人権推進課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、武田局長。

○武田敏男人権政策局長兼人権推進課長 はい。人権推進課、武田です。資料のほうは、めくっていただきまして19ページになります。社会福祉費、人権推進総務費の中の谷山共同浴場（下湯）解体事業であります。予算書は197ページでございます。この谷山共同浴場（下湯）は、本市が同和対策事業によって、昭和37年に吉岡温泉町に整備したものです。この施設老朽化と、

それから近隣に一ノ湯が開業したことによりまして、平成30年の5月に廃止されております。この老朽化した施設の解体設計費212万5,000円を計上するものです。なお、建物の概要としましては、コンクリートブロック造りで、二階建てで、延べ床面積が132.37平米となっております。以上です。

○川口寿弘中央人権福祉センター所長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、川口所長。

○川口寿弘中央人権福祉センター所長 はい。中央人権福祉センターの川口です。まず、説明資料の19ページの下から2つ目の地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費についてです。事業別概要は14ページの下段になります。これは、生活困窮者支援として、自立相談支援事業、住居確保給付金支給事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、それから、学習支援事業を実施するもので、予算額は、3,408万2,000円となっております。このうち、国支出金が2,515万7,000円となっております。令和元年度までは、生活福祉課所管でしたが、令和2年度より所管替えとなっております。令和元年度までの予算実績の中には、生活保護受給者への支援分も含まれておりますので、金額がかなり大きく見えますが、令和2年度所管替えの際には、その分は別に分けておりますので、金額が少し減ったような形になります。さらに、令和3年度はさらに、この増額になっている主な理由としては、住居確保の給付金支給等の増額が見込まれることから、こういった予算額となっております。

続けて、同じく19ページ、一番下の地域食堂ネットワーク運営補助金についてになります。事業別概要は15ページの上段になります。これは、地域食堂ネットワークが、麒麟のまち圏域内の地域食堂の支援を行うために、それに当たりまして、事務局に人員を配置するなどの運営に関わる経費に当たるものです。予算額は、411万5,000円となっております。

次に、説明資料の20ページの上のほうになります。子どもの居場所づくり推進事業費でございます。事業別概要は15ページの下段になります。事業の内容といたしましては、地域食堂の新規立ち上げに関する補助でありますとか、運営を継続するための運営費の補助を、それぞれこども食堂、地域食堂の運営団体に補助をするものでして、予算額は878万3,000円となっております。このうち県支出金が438万9,000円となっております。以上でございます。

○一村泰志財産経営課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、一村課長。

○一村泰志財産経営課長 はい。財産経営課、一村です。資料のほうは、先ほどの説明の部分から4つ下に下りていただきまして、国土調査事業費（地籍調査事業費）でございます。事業別概要は7ページ上段を御覧ください。国土調査事業について、来年度も引き続き実施していきます。令和3年度当初予算として、実施予定面積0.69平方キロ、事業費としては4,045万6,000円を計上しております。これに、午前中説明させていただきました2年度の繰越分として、面積にして0.93平方キロ、額にして4,500万円を合計しますと、令和3年度の実施予定面積が1.62平方キロで、予算規模としましては、8,545万6,000円ということになります。説明は以上です。

○横尾賢二危機管理課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、横尾課長。

○横尾賢二危機管理課長 はい。危機管理課、横尾です。資料のほうは21ページになります。消防費の、消防費、消防施設費、3の消防施設費の中の消防施設等整備費の中で、消防ポンプ車格納庫建設事業費、これを5,136万円計上しております。こちらにつきましては、老朽化した格納庫の建て替えを行うということで、防災消防力の向上を図るものでございますが、このたびは、千代水分団消防格納庫の新築工事ということで、これは、老朽化と併せて、県道拡幅工事ということで、移転が必要になったという理由もございます。

2つ下がりまして、消防ポンプ車購入費でございます。5,603万3,000円計上しております。事業別概要のほうは22ページになります。消防団のポンプ車を計画的に更新していくというものでございます。令和3年度は、ポンプ車2台、小型ポンプ1台ということで予定しております。私からは以上でございます。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、河口次長。

○河口正博総務部次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。そうしますと、はぐっていただきまして、22ページでございます。11公債費になるものでございます。こちらは、元金、利子、それぞれございまして、元金につきましては、92億7,868万8,000円でございます。この財源内訳としましては、県の支出金が1,168万9,000円。それから、その他のところ3億7,165万5,000円でございます。こちら地域総合整備資金ということで、ふるさと融資として貸付けを行ったものの償還に係るものが、このその他のところに入ってくるというものでございます。なお、こちらの92億7,868万8,000円の中には、3億900万円が猶予債の利子の償還ということが、この中に含まれてるというものでございます。

それから、その下でございます。利子につきましては、5億2,049万7,000円でございます。こちら、前年度より少なくなっております。その他のところの2億3,050万につきましては、住宅使用料、市営住宅の使用料が、その他財源として充当するというようになっております。

以上で、一般会計の当初予算の説明が終わりました。

◆吉野恭介分科会長 はい。ありがとうございました。

本日は説明のみとなっておりますが、委員の皆さんで、聞き取りにくかった点や字句の確認ありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 大丈夫ですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 はい。じゃあ、なしと認めます。

それでは、議案第4号の一般会計予算の説明をこれで終わらせていただきます。

説明の終了した部署は、ここで御退席いただいて結構であります。どうもお疲れさまでした。休憩が欲しい。

◆伊藤幾子副分科会長 ああ、もう、そうか。あと、もう少し、しといたら。

◆吉野恭介分科会長 うん、3つ。

（「あと3つ」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 はい。退席終了いたしました。

じゃあ、あと予算審査分3つあります。このまま続けさせていただきます。

議案第9号令和3年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算(説明)

◆吉野恭介分科会長 それでは、議案第9号令和3年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算の説明をお願いいたします。

○武田敏男人権政策局長兼人権推進課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、武田局長。

○武田敏男人権政策局長兼人権推進課長 はい。人権推進課、武田です。資料番号、資料のページでいきますと、23ページになります。予算書ページ、428ページの住宅新築資金等貸付事業費特別会計でございます。まず、23ページの中段辺りの諸収入のところを見ていただきたいと思います。この住宅新築資金等のところにあります、貸付金の元利収入でございます。それぞれ、住宅新築資金等の貸付金の元金収入の滞納分、それから、同じく利息収入の滞納分、住宅改修資金の滞納分、住宅改修資金の利息収入等、それぞれ前年度より増加しております。実は、令和元年度から、収納推進課のほうと連携いたしまして、主に、そちらのほうで収納のほうをやっただいております。非常に大きな成果が出ているということでございます。

続きまして、24ページのほうに行って、今度は、歳出のほうになります。この中では、2番目の公債費であります。元金417万1,000円、利子が8万2,000円の合計425万3,000円になっておりますが、実は、この住宅新築資金等の貸付金につきましては、平成8年度で終了しております、この令和3年度で、いよいよ、その際に起債を借りていますが、その起債の償還が来年度で終了することとなります。非常に長い期間、この間あったんですけれども、鳥取市としては、昭和42年からずっと平成8年まで、この事業が継続していたということがありまして、延べで、合計で3,025件、総額で89億6,800万円の貸付けが行われております。非常に長い期間ですが、取りあえず、起債償還のほうで終了するということとなります。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 はい。ありがとうございます。

委員の皆さんで、聞き取りにくかった点や字句の確認ありますか。はい。なしと認めて、次に参ります。

議案第10号令和3年度鳥取市土地取得費特別会計予算(説明)

◆吉野恭介分科会長 議案第10号令和3年度鳥取市土地取得費特別会計予算の説明をお願いいたします。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい、委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、戸田課長。

○戸田昭弘資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、戸田です。土地取得費特別会計ということでございます。予算資料は25、26ページとなります。予算書におきましては440ページ～442ページ、事業別概要は236ページの下段となります。この特別会計は、公用または公共用に供する土地につきまして、あらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るため設置しました土地開発基金について、その運用益の管理を行っているものでございます。

初めに、歳入でございます。25ページでございますが、土地開発基金運用収入として、令和3年の当初の基金総額の見込みは、基金額と土地開発公社貸付金額を合わせまして、22億3,345万2,000円でございます。その運用益として、6万7,000円、これは、大口定期預金の利率0.003%となりますが、これを基金運用収入として計上しております。

また、基金繰入金として、事務費8,000円の経費を土地開発基金から繰り入れるものとして計上しております。

続きまして、26ページの歳出でございます。歳入の運用益となります6万7,000円、これを、土地開発基金へ積立てするための経費、並びに、事務費8,000円を計上しているものでございます。

以上歳入・歳出合計、共に、本年度予算額は7万5,000円を計上しております。以上です。

◆吉野恭介分科会長 はい。ありがとうございました。

委員の皆さんのほうで、聞き取りにくかった点、字句の確認ありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 なし。はい。なしと認めます。

議案第13号令和3年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算(説明)

◆吉野恭介分科会長 続いて、議案第13号令和3年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算の説明をお願いします。

○一村泰志財産経営課長 委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、一村課長。

○一村泰志財産経営課長 はい。財産経営課、一村です。財産区の特別会計予算です。歳入に関しましては、資料3の27ページを御覧ください。市内に20あります財産区管理会の来年度の各歳入金について、基金利子ですとか、土地貸付料ですとか、積算した結果、歳入予算は1,230万9,000円という形になっております。

次に、歳出に関しまして、同じく資料3の28ページを御覧ください。各財産区の財産区管理会の活動状況等におきまして、積算した歳出の結果が、同じく歳入と同じ額1,230万9,000円となっております。説明は以上です。

◆吉野恭介分科会長 はい。ありがとうございました。

委員の皆さん、何か聞き取りにくかった点、字句の確認ありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 なしですか。はい。じゃあ、なしと認めます。

じゃ、これで、予算審査分の説明を終わります。

それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会を一旦終了いたします。
再開は10分後、あの時計で2時35分といたします。はい。お疲れさまでした。
（ ） ありがとうございます。

総務企画委員会に切替え午後2時25分 休憩
予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後2時55分 再開

【監査委員】・【選挙管理委員会】・【出納室】・【市議会】

- ◆吉野恭介分科会長 これより予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。分科会への切替えをお願いいたします。はい。よろしいですか。
（「いいです」と呼ぶ者あり）

議案第4号令和3年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分(説明)

- ◆吉野恭介分科会長 はい。それでは、議案第4号令和3年度鳥取市一般会計予算のうち、本委員会の所管に属する部分について、一括して御説明を簡潔明瞭をお願いいたします。
監査委員からよろしくをお願いいたします。

○大田斉之監査委員事務局長 委員長。

- ◆吉野恭介分科会長 はい、大田局長。

○大田斉之監査委員事務局長 監査委員事務局長、大田でございます。私のほうからは、監査委員事務局に係る令和3年の当初予算を説明させていただきます。資料を配らせていただいております説明資料のほうの1ページでございます。公平委員会費が172万2,000円ということでございまして、これは、委員3名に対する報酬及び事務費でございます。

下の段の監査委員費6,695万1,000円でございます。これは委員報酬、また職員費、それと監査費等と都市監査委員費というような通常業務の分も含まれております。この中で、新規で監査費の中に、ペーパーレス化を図りたいということで、タブレットを3台を考えておりますけど、この7月導入に向けて準備していきたいということで、9か月のリース料等のほうが28万6,000円含まれております。この分だけ新規でございます。以上でございます。

- ◆吉野恭介分科会長 はい。ありがとうございます。

続きまして、選挙管理委員会、お願いします。

○鈴木 敏選挙管理委員会事務局長 はい、委員長。

- ◆吉野恭介分科会長 はい、鈴木事務局長。

○鈴木 敏選挙管理委員会事務局長 はい。選挙管理委員会、鈴木でございます。同じく資料の2ページの上段を御覧いただきたいと思っております。歳入について説明をさせていただきます。選挙費委託金8,634万6,000円でございます。内訳といたしまして、在外選挙人名簿登録事務費8,000円、衆議院議員選挙費8,590万8,000円、衆議院議員選挙臨時啓発費30万円、最高裁判所裁判官国民審査市町村交付金13万円でございます。

続きまして、同じく下段の歳出について説明させていただきます。選挙費の予算は、総額で1億4,933万7,000円を計上させていただいております。

まず、選挙管理委員会費でございます。4,266万4,000円でございます。主な内訳といたしまして、委員報酬4人分が160万2,000円、事務局職員費5人分が3,992万9,000円、選挙管理委員会的一般事務費が102万1,000円でございます。これは、会議の出席旅費、消耗品等でございます。

次に選挙啓発費として、127万円を計上させていただいております。常時啓発を行うための選挙啓発推進費103万5,000円、鳥取市明るい選挙推進協議会を補助する選挙啓発団体育成費23万5,000円でございます。

次に、8市長選挙費、市長選挙費として1,906万5,000円を計上させていただいております。これは、任期満了に伴う市長選挙の準備経費を計上させていただくものでございます。主な経費の内容といたしまして、投票用紙・投票所入場券の印刷経費、投票所入場券の郵送経費、ポスター掲示場の作製・設置経費、選挙啓発物品作成に要する経費でございます。

次に、10衆議院議員選挙費として、8,603万8,000円を計上させていただいております。これは、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行経費でございます。衆議院議員の任期満了日は、本年10月21日となっておりますので、予算を計上させていただくものでございます。主な経費の内容といたしましては、投票所、開票所に要する経費、期日前投票所経費、ポスター掲示場作製・設置・撤去経費、入場券の印刷及び発送経費、選挙公報の配布経費などでございます。財源につきましては、全額、国の委託金でございます。

最後に、衆議院議員選挙臨時啓発費として30万円を計上させていただいております。これは、衆議院議員選挙の選挙啓発費でございます。内容といたしましては、期日前投票所の案内看板の作製費などでございます。財源につきましては、全額、国の委託金でございます。この衆議院議員総選挙、市長選挙の執行に当たりましては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、有権者の皆様安心して投票いただけるよう、感染防止対策を徹底した上で執行してまいります。説明は以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 はい。御説明いただきました。

続きまして、出納室、お願いいたします。

○高橋 徹会計管理者 はい、委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、高橋会計管理者。

○高橋 徹会計管理者 はい。会計管理者、高橋でございます。続きまして、3ページになります。お配りしてあります資料の3ページ、出納室でございます。

上の段が歳入でございます。歳入、新しいものといたしまして、一番下の支所集金業務手数料負担金ということで、16万円計上させていただいております。これは、各支所からの、各支所が取り扱った歳入金を、鳥取銀行さんのほうが毎日こう集めていただいております。それに伴いまして、その中に水道料金も入っておりますので、水道会計から負担していただくものとして、16万円計上させていただきました。

歳出のほうでございます。下の表でございます。主なものといたしまして、出納事務費、こちらが1,808万5,000円ということでございます。これは、金融機関の収納窓口、それから口座振替に係る手数料等、歳入していただくに当たりまして、金融機関に対して支払う手数料というものが主なものでございます。

それから、下のほう公債費でございます。先ほどの補正のほうでも説明させていただきましたが、コロナの関係での制度融資に伴うものでございます。この制度融資、預託方式です。貸付けといいますのは、金融機関の貸付残高に応じて、一定割合を預託するというのでございますので、年度当初から預託が必要になるということで、またそれを一時借入れして、それに対する利息ということで、1,250万2,000円計上させていただいております。以上です。

◆吉野恭介分科会長 はい。ありがとうございます。

最後に、市議会事務局お願いいたします。

○森山 武市議会事務局長 はい、委員長。

◆吉野恭介分科会長 はい、森山事務局長。

○森山 武市議会事務局長 はい。そういたしますと、説明資料の4ページを御覧いただきたいと思っております。

まず、歳入でございますけれども、諸収入ということで、計上を80万7,000円させていただいております。

歳出でございますけれども、議会費ということで、総額4億5,712万円ということになっております。

それぞれの内容につきまして、富田局次長のほうから御説明を申し上げます。

◆吉野恭介分科会長 はい、富田次長。

○富田恵子市議会事務局長 はい、富田でございます。では、4ページの歳入から説明させていただきます。歳入、タブレット端末通信料議員負担金といたしまして、80万6,000円計上しております。これは、新規事業といたしまして、タブレット端末及びペーパーレス会議システムの導入で、新規事業の中、議員負担分といたしまして、端末に係る経費の2分の1、議員負担金として、雑入に入れたものでございます。

歳出でございます。昨年とほぼ変わりませんが、運営経費のところでございます。この中に新規事業といたしましたタブレット端末及びペーパーレス会議システムの導入の要求額358万8,000円が入っております。内容は、タブレット端末を議会資料閲覧及び情報収集のため、タブレット端末をリースにより調達し、また庁外でも、通信を可能とするため、携帯電話のデータ通信回線を付与する。導入予定端末は、iPad Pro 12.9インチWi-Fi セルラーモデルでございます。調達方法です。端末リース及び通信回線等の一括契約による入札を考えております。

ペーパーレス会議システムでございます。議会資料をインターネットのサーバー上に保存し、どこからでも簡単に閲覧できるペーパーレス会議システムを選定し、導入するものでございます。

調達方法でございます。プロポーザル方式を考えております。

事業計画ですが、令和3年4月から調達事務に当たり、7月に端末を議員配付、試行開始を予定しております。9月定例会では、端末利用開始を予定しているものでございます。

議員負担分の計算ですけれども、月に約5,599円見込んでおまして、掛けるの2分の1掛ける、32人掛ける、9か月分といたしまして、80万6,112円、これは歳入のほうに入ったものでございます。以上でございます。

◆吉野恭介分科会長 はい。ありがとうございました。

本日の委員会では、説明のみとなっておりますが、議員の皆さんで聞き取りにくかった点や字句の確認等ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆吉野恭介分科会長 なしと認めます。

それでは、これで予算審査特別委員会総務企画分科会を終了いたします。皆さん、お疲れさまでした。

（ ） ありがとうございました。

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後3時6分 閉会

鳥取市議会委員会条例第28号第1項の規定によりここに署名する。

総務企画分科会長

令和3年2月定例会

総務企画委員会・予算審査特別委員会総務企画分科会

日時：令和3年2月26日（金）

10:00～

場所：本庁舎7階第1委員会室

総務部・危機管理部

《総務企画委員会》

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第24号 令和2年度鳥取市一般会計補正予算（第12号）【所管に属する部分】

議案第29号 令和2年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計補正予算（第2号）

議案第32号 令和2年度鳥取市財産区管理事業費特別会計補正予算（第1号）

◎議案【先議分以外：説明】

議案第44号 鳥取市男女共同参画センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

議案第46号 職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について

議案第47号 鳥取市行政財産使用料条例の一部改正について

議案第58号 鳥取市被災者住宅再建等支援条例の一部改正について

議案第63号 鳥取市職員の特殊勤務手当に関する条例及び鳥取市新型コロナウイルス感染症
緊急対策基金条例の一部改正について

議案第64号 包括外部監査契約の締結について

◎報告

- ・報告第1号 専決処分事項の報告について（収納推進課）
- ・行政手続における書面規制、押印、対面規制の見直しについて（総務課）
- ・鳥取市定員管理方針の計画期間延長について（職員課）
- ・本庁舎敷地内の水質調査結果について（財産経営課）
- ・令和3年度市民税の申告期限の延長について（市民税課）

-----《予算審査特別委員会総務企画分科会》-----

◎議案【予算審査分：説明】

- 議案第 4 号 令和 3 年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】
- 議案第 9 号 令和 3 年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算
- 議案第 10 号 令和 3 年度鳥取市土地取得費特別会計予算
- 議案第 13 号 令和 3 年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算

監査委員・選挙管理委員会・出納室・市議会

-----《総務企画委員会》-----

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

- 議案第 24 号 令和 2 年度鳥取市一般会計補正予算（第 12 号）【所管に属する部分】

-----《予算審査特別委員会総務企画分科会》-----

◎議案【予算審査分：説明】

- 議案第 4 号 令和 3 年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

-----《総務企画委員会》-----

その他

- ・令和 3 年度総務企画委員会視察について